

御前山ビオトープ通信

平成27年11月10日

第48号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



目次

1. 御前山中学校自然観察会
2. 御前山ダム湖周辺を歩く会
3. 御前山ビオトープ育成作業（災害復旧など）

【案内図】



御前山ビオトープでの自然観察会

1. 御前山中学校の自然観察会

10月16日（金）地元御前山中学生の1年生を迎えての自然観察会を実施しました。

時間は午前9:00～10:30、参加人数は生徒29名、先生（校長先生含む）4名ボランティア2名、説明案内者は藤田先生です。

小雨が時折降る中でしたが、約1時間半、時に熱心にメモをとったり、時に藤田先生から出た冗談に笑いながら、楽しく御前山ビオトープ周辺に生育する植物の名前や生態などを知ることができました。

また自然観察会に続いて、国営事業所の案内で御前山ダムの監査郎を見学しました。



2. 御前山ダム湖周辺を歩く会

11月1日（日）に「御前山ダム湖周辺を歩く会」を開催し、常陸大宮市長、那珂川沿岸農業水利事業所長を始め市内外から百数十人が参加しました。

当日は午前9時にダム公園に集合、御前山ダム環

御前山ダム直下の公園で出発前の準備体操



常陸大宮市長の開会挨拶



境センターの国安会長から主催者挨拶、市長、事業所長からの挨拶に続いて、皆で準備体操を行い早速出発です。

晴天に恵まれ抜けるような秋空と紅葉の中、ダム湖周辺の道のり5kmほどを気持ちよく歩きました。

ダム管理所ではダム湖に逆さに映える対岸の紅葉をバックに皆で記念写真を撮りました。

ゴールでは子供たちも参加して元気に餅つきなどを行い、ダム公園の芝生広場で昼食を美味しくいただきました。

3. 御前山ビオトープ育成作業（災害復旧など）

取水口の災害復旧工



ほぼ完成したチロル式取水口



9月10日に鬼怒川決壊をもたらした大雨は近くの御前山も同様に取水口周辺の川床が洗掘被害を受けました。

そのため11月6日（金）のビオトープ育成作業において災害復旧工事を行うこととしました。幸い前回整備した根固工事の効果もあり本体は無事でしたので、今回は取水位置を延伸してミオ筋を中央に安定化させる工夫をしました。

土工に一部重機を使用しましたが、水路延伸や生コン手練り、打設と直営手作業の重労働で、何とか午前中に完了しました。昨年秋に取水口を設置し、今年5月に根固工、今回は第3期工事としてミオ筋安定化・取水位置変更と段階的に整備し、これでほぼチロル式溪流取水口は完成しました。

また、今回は水戸市内の中学生3人のボランティア体験参加があり、林間や池の希少種周辺

の草取りを分担してもらいました。

作業が終わった頃、地元の婦人グループが手作りしてくれた昼食が到着しました。秋の味覚として地元で採取されたキノコをふんだんに使ったオニギリとキノコ汁です。オニギリに入っている黒い具は何かと聞いてみると「シシタケ」とのこと。「香茸（コウダケ）」

ともいい、近年は少なくなってかなりの高額になり、値段・香りとも松茸に勝る存在と知って驚きました。これが大好評でほとんどの人がおかわりをしていました。

また帰路には、地元から土産として秋大根をいただきました。ちょうど那珂川の鮭の遡上もみられ秋の御前山を満喫できました。遠方からのボランティアの皆さんもありがとうございました。

ダム湖に映える紅葉を背景に記念写真



子供達も参加して餅つき



中学生のボランティア参加



作業後

